

Report

山と自然のサイエンスカフェ@信州(令和6年度)

第3回「人の暮らしと生きものたち」

話題提供者：小林 慶子^{こばやし よしこ}（自然環境部）

日 時：2024年10月25日(金) 17:30～19:00

会 場：くらしふと信州 ◆ 参加者：14名

人口減少時代に突入し、里山から人の暮らしが消失しつつある今、人の暮らしによって生み出された里山の自然の成り立ちと、里山から人の暮らしが消えた時の自然の変化に関する研究を紹介しながら、里山の自然と、里山を育む「里山暮らし」の価値を考えました。

講座の前に、里山利用の経験や里山の自然に対する意識や関心についてアンケートを行い、各人の意識や関心の程度を把握しました。

講座では、農林業を中心とする伝統的な人の暮らしによって生み出された里山の自然の成り立ちと、里山から人の暮らしが消えたとき、人の暮らしによって育まれてきた里山の自然はどう変わるのかを紹介し、参加者全員で、里山の恵みを次世代に引き継ぐためにできることを考えました。講座の終盤では、講座前と同じアンケートを行い、



写真 参加者全員で作成したまとめボードで関心を持った内容と意識の変化を振り返る



写真 会場の様子

講座を通して自身の意識や関心の程度が変化したかを確認した上で、参加者全員で、関心を持った内容や意識が変化した内容にシールを貼るまとめボードを作成しながら、里山の自然と、それを育む「里山暮らし」への関心を喚起するためにどのような内容が有用かを考えました。

まとめボードによって、今回の参加者は、人が自然から得ることのできる便益「生態系サービス」の説明に関心を寄せ、講座の前後で生態系サービスやそれを育む「里山暮らし」が失われることのリスクや、保全活動への共感する思いが変化したことを確認しました。何をどう伝えと効果的か、里山の保全活動などに関心のある参加者のみなさまとの意見交換もできた回でした。



令和7年度のイベント予定

詳細は、開催1ヶ月前までにホームページ等でお知らせします。
最新情報を当所のホームページでご確認ください。

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/kanken>)



ホームページはこちらから↑

◎自然ふれあい講座

みんなで温暖化ウオッチ ～セミの抜け殻をさがせ！

毎年同じ時期に同じ場所でセミのぬけがらの種類や数を調べることで自然の変化を観察します。平成24年(2012年)度から継続中で、令和7年(2025年)度は次の6会場で開催します。

▶時 期

8月1日(金)～8月8日(金)(午前中)
会場ごとに開催日は異なります。

▶場 所

- ・川中島古戦場史跡公園(長野市)
- ・アルプス公園(松本市)
- ・かざこし子どもの森公園(飯田市)
- ・大町山岳博物館(大町市)
- ・市民の森公園(上田市)
- ・鳩吹公園(伊那市)



★この他にも、「サイエンスカフェ」「施設公開・親子環境講座」等の開催を計画しています。詳細はホームページで！